

【校長室便り】

No. 22

H30年9月3日(月) 土佐町小中学校 谷内宣夫

2学期始業式



平成30年度 第2学期 始業式 式辞

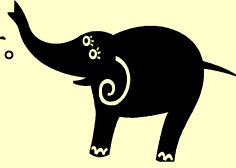
2学期の始業式に当たって、今後の学校生活の指針としてほしいことを話したいと思います。

自分の可能性は無限である！ 自分自身に枠をはめないこと！

「象の話」

象は赤ちゃんの時に、鎖に繋がれると、イヤだから引きちぎろうと引っ張ります。でも、身体がまだまだ小さいので力も弱く切れません。何度も逃げようとするのですが逃げられません。そのうち逃げることをあきらめ、鎖に繋がれたままになります。

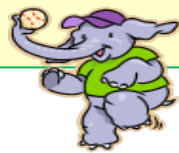
身体が大きくなって大人の象に成長します。



相変わらず鎖につながれたままです。

身体が大きくなったのだから力も強くなっており、鎖を引きちぎるのは、たやすいことなのですが、象は自分の足に繋がれている鎖を切ろうとはしません。

なぜなら、象は『この鎖は切れないもの』と思い込んでいるからなのです。だから、鎖を切って自由になろうと考えないで、つながれたままになっているのです。



あなたはこの話を読んでどう思いましたか？

学習面でも生活面でもスポーツ面でも、何かをやる前から「私(僕)にはできない」「無理」「わからん」と思い込んでいて行動に移さないでいる児童・生徒(場面)をよく見かけます。

- 「なんでできないんだろう」と自分を責めるより、
 - 「〇〇だからできなかった」と言い訳を考えるより、
 - 人のせいにして、できないことを正当化するより、
 - 「やってもできんから、やらない」と開き直すより、
 - ◎ 「どうしたらできるようになるのか」「うまくいくのか」
 - ◎ 「その問題を解決するためには何をしなければならないか」
- ということを考えて、工夫して、実行してみませんか

何か出来ることを一つでも見つけてやってみる。

そしてそれを継続してやり続ける。



このことの方がはるかに進歩的であるし、より良い自分を作り上げていくことになるのです。



あなたの頭の中にある『悪い固定観念』を打ち破りましょう！そして、ポジティブに、プラス思考で前向きな生き方をしていこうではありませんか。



マイナス思考でつまらなく、面白くない生活をおくるより、学習にスポーツに自分の可能性を広げてみて、楽しく充実した生活にしようではありませんか。



楽しく、面白く生活するために！

★自分の目標(ゴール)をしっかり持つこと。

ゴールは近いものと遠い将来のもの2つ必要です。

★やっていることを好きになること。



★好きになるかはやってみなければわからない。

頭の中で判断し、やる前からブレーキをかけない。

★やっていることが楽しいと思えるようにすること。



楽しいと思えば続くし、楽しくないと思えば続かない。

★楽しくするには成功体験が必要。

《できた》《うまくいった》と感ずることが必要。



★《できる》《うまくいく》ためには、

《うまくいっている人》のやっていることをマネること。
《うまくいっている人・人生の先輩》の忠告(アドバイス)を聞くこと。

★アドバイスを聞いたなら素直に言われたとおりにやること。

★できなかつたら(うまくいかなかつたら)何度でも人に聞くこと。(質問すること)



『聞くは一時の恥、知らぬは一生の恥』

★自分にできる簡単なことを、たくさんやり続けること。

★やり続けるとできることがたくさん増えます。



自信もつきます。「私はやればできる子なんです！」

と思えるようになります。



★なんにでもチャレンジすることが楽しくなります。

★人生何事もチャレンジ(挑戦)です。

以上、私からのアドバイスです。



2学期からは「象」にならずに、自分の可能性をどんどん広げていきましょう！たくさんの行事や児童・生徒会活動もちろん毎時間の授業の中でチャレンジする姿を見せて下さい。